

# やはり、粘り強くコツコツと！

万代 栄嗣



将

棋の羽生善治棋聖が、遂に「永世7冠」を達成しました。

15年ぶりに「竜王」位を奪取し、これで同位を通算7期獲得ということで「永世竜王」を名乗る資格を得、すでに獲得

していた他の6冠を合わせて、前人未到の偉業達成です。庶民から

すればプロの棋士になること自体が天才、そのプロ棋士たちにとっても生

涯で一つでもタイトルを獲得するのが夢です。それが、全7タイトルで「永世」称

号を獲得し、19歳の時に初めて手にした今回と同じ「竜王」以来、獲得タイトル数もこれで99となり、通算100タイトル獲得という、頭がクラクラするような記録も目前です。

デビュー以来の30年間のプロ生活の中で、ほぼ毎年、賞金王であり続けた将棋界の第一人者ですが、今回の7冠達成は、実は難産でした。永世6冠を達成し、「竜王」位7番勝負に臨み、3連勝。あと一勝…と、まさに王手をかけたのが、8年前。今回の対戦相手と同じ渡辺明竜王だったのですが、そこでまさかの4連敗。それからが大変でした。最近、賞金王でありながらも、人工知能相手の将棋で腕を磨いた10代、20代の若手に負けることも増え、口さがない連中からは「羽生の時代は終わった」と言われる始末。47歳になり、もしかすると次はないかも？と思って臨んだ今回の対局だったようです。

羽生棋聖の凄さは、相手得意の戦法や内容の将棋にあえて誘い込み、そこで勝ち抜く強さ。まさに横綱相撲。全7タイトルを同時保持した25歳の頃までは、言うまでもなく「天才」と「勢い」でしたが、今日まで伝説が続いているのは、月並みですが「努力と精進」「変わらぬ情熱」そして、将棋への「没頭」があるからでしょう。少しでもあきらめたり、投げ出したりしては決して起こらない事態なのです。

私たちは決して天才でもなく、特別な勢いもないかもしれません。だからこそ、コツコツと努力を重ね、信仰と夢を持ち続けることが大切なのです。12月になり、クリスマスのシーズンを迎えています。本当は、華々しい成果や人々に称賛されるような話題で一年を締めくくりたいところですが、現実にはそれを許さない厳しい状況かもしれません。でもだからこそ、御言葉通り、信仰を機能させて、今日も今週も、コツコツと本当の自分らしくあるべき歩みを継続してまいりましょう。“私は勇敢に戦い、走るべき道りを走り終え、信仰を守り通しました。今からは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。…(IIテモテ4:7,8)”そうです！ 私たち信仰者の歩みには、人や世間からではない、神様からの冠が待っているのですから。

## recommend

### おすすめ情報

新刊発売



#### 無敵の鎧を身にまとえ

— 真のリーダーは奇跡をも起こす —

■ビル・ウィルソン著/万代栄嗣訳  
ウィズダム出版(1800円)

マイナスから始め、世界的組織を作り上げた成功哲学は、リーダー的立場にある全ての人々に必ず役立ちます。

リリース！



#### 聖歌コレクション vol.4

— クリスマス曲選 —

■まんだいえいじ：歌  
日比野則彦&中村葉子：演奏  
GEMImpact (1500円)

大好評の日本語での聖歌シリーズの4作目リリース。ギターも加わり、新鮮な音色でお送りします。全10曲